

Time:11:00時点

※前回報：1月17日報 Vol:31

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

米国失業率が3.4%と53年ぶりの低水準となり、堅調な雇用統計から追加利上げ継続

■ [2月CP] プロパン：\$790 (前月比+\$200)、ブタン：\$790 (前月比+\$185) ■ [1月MB平均]：\$438 (前月比+\$81)

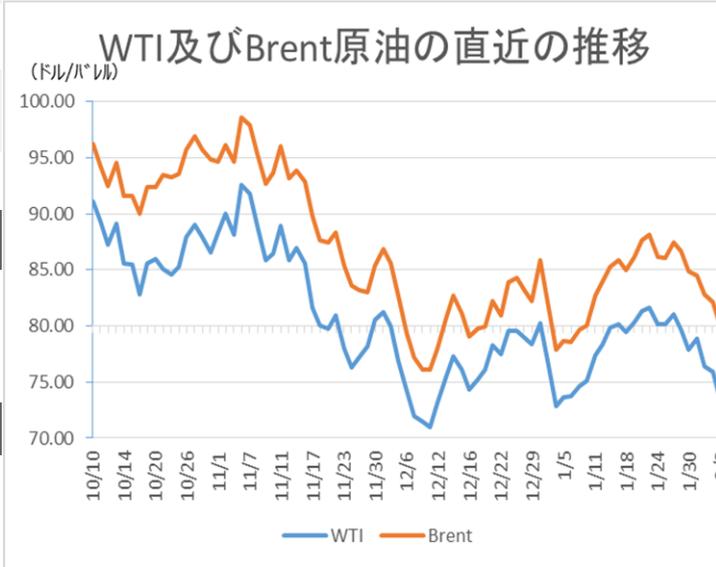
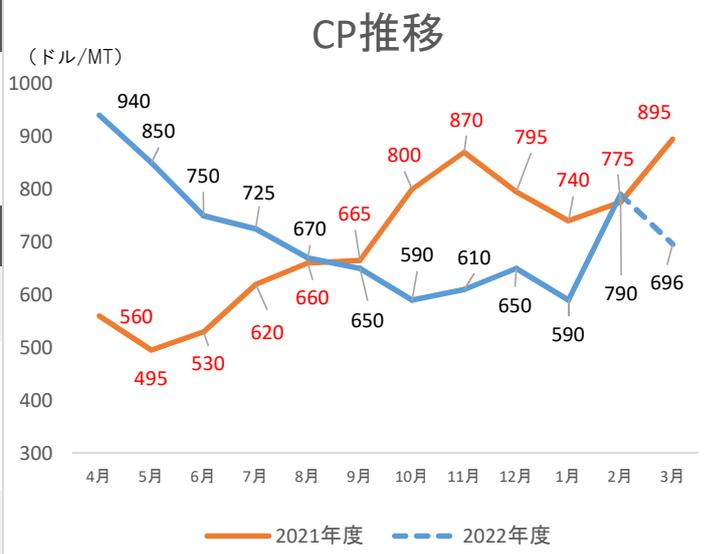
エネルギー市場

原油 先物 (USD/BBL)	今回
NY/WTI (3月)	73.39
北海Brent (4月)	79.94

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比				
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比	
CP 3月	696	+97	104%	+10%	
MB 2月	460	+19			
プロパン 4月	5月	6月	7月	8月	
CP先物	646	616	602	595	594
プロパン 3月	4月	5月	6月	7月	
MB見通し	465	465	465	467	470

外航フレート (USD/MT)	2/3時点			
中東-日本	91.5			
米国-日本 (パナマ運河経由)	144.0			
為替/TTS	2月予測	1月	12月	11月
USD/円 20日	130.11	132.51	138.46	146.47
USD/円 末日	129.80	131.35	136.09	143.48

LPG元売り1月改定幅 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ： +3,950	+3,450
ENEOSグローブ	改定レンジ： +5,000	+4,400
アストモスエネルギー	改定レンジ： +3,800	+3,300
ジクシス	改定レンジ： +4,600	+4,100



マーケット概況

NYダウ (US \$)	今回 33,926.01	TOPIX (円)	今回 1,980.02
S&P500 (US \$)	4,136.48	金 (Gold) 先物 (US \$)	1,879.40
米国債券10年利回り (%)	3.569	VIX恐怖指数 (%)	18.33
日経平均 (円)	27,730.82		

今週のTOPIC

★米国失業率が3.4%と53年ぶりの低水準となり、堅調な雇用統計から追加利上げ継続

原油概況

★欧米利上げによる景気後退懸念と米国在庫の高さからWTIは\$70台前半に下落

影響度

強気・
上昇要因



- ① EUは原油に加えロシア産石油製品にも2月から価格上限設ける事で合意
- ② OPEC1月原油生産量は日量2,887万バレルと目標に対し92万バレル未達
- ③ 中国の1月末コロナ重症患者数がピークから72%減少し経済回復に期待

弱気・
下降要因



- ① ロシアの1月アジア向け原油輸出は前月比約30%増加する見込み
- ② OPECプラスはJMMCにおいて現行政策維持し追加減産しない方針を確認
(JMMC=合同閣僚監視委員会)
- ③ EIAは米国原油在庫が需要低迷で2021年6月以来の高水準になったと発表
(EIA=米国エネルギー情報局)

LPガス概況

★中東のLPガス供給制限と中国景気回復期待から2月CPは\$790に急騰

(強気)

- ① サウジアラムコとアブダビ国営石油の設備定修により2月供給量が減少
- ② 中国の12月LPG輸入量は240万tと前年同月比28%増加、需要回復傾向

(弱気)

CP高騰により中国化学工業原料用プロパン需要が減少

「2月CP急騰の背景 ※3~4月にかけては下落見込み」

- ・直近まで2月CPとそれ以降のCPは先物価格で\$600を割り込む水準となっていました。
- ・1月に入りアブダビ国営石油とサウジアラムコが2~3月にかけて基地を定期修理にかけ、修理期間中出荷量を削減すると通達しました。(アブダビ国営石油は70万t/月が半減)
- ・米国出荷港周辺の濃霧影響による米国玉出荷遅れ、中国経済回復による需要拡大予測、イラン北中部寒波影響によるイラン産LPG出荷減、フレート相場急落により到着価格が割安となった事等もCPが上昇する要因となったようです。